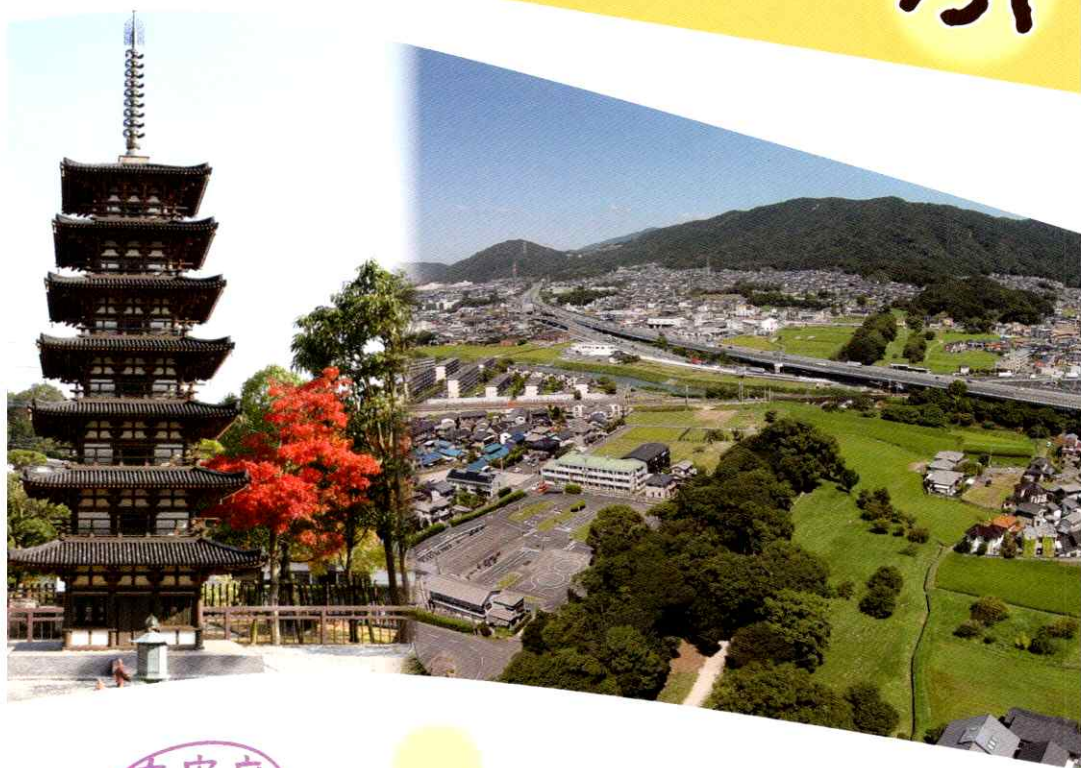


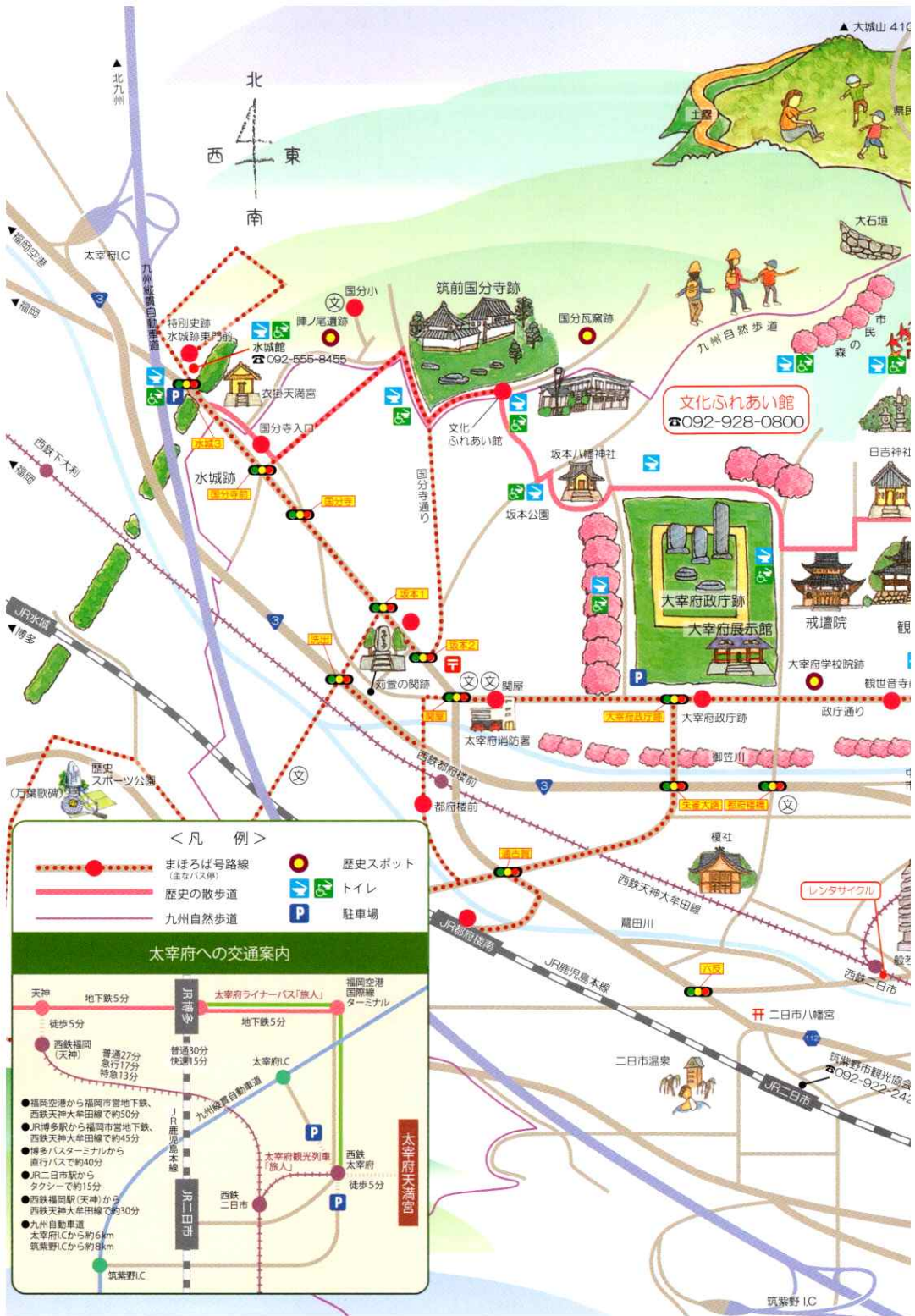
こ たび  
ちよ古旅

だざいふ



大宰府  
歩いて体感!!  
魅力

歴史の散歩道ガイドブック



文化ふれあい館  
☎092-928-0800

< 凡 例 >

- まほろば号路線
- 歴史の散歩道
- 九州自然歩道
- 歴史スポット
- トイレ
- 駐車場

太宰府への交通案内



太宰府天満宮

筑紫野市観光協会  
☎092-922-2424






**太宰府市 観光交通ガイド**

駐車場・公共交通機関への乗り換え  
情報のごあんない

携帯電話・スマートフォンでアクセスできます▶




太宰府市コミュニティバス  
**まほろば号**

まほろば号路線 (主なバス停)

[小学生以上 全区間:100円 1日フリー乗車券:300円] にしてつ時刻表

この「まほろば号」で太宰府のほとんどの公共施設や観光名所・旧跡に行くことができます。さらに観光用に「1日フリー乗車券」を使うととってもお得で便利です!この「1日乗車券」を提示するだけで、下記の施設の入館料が割引になる特典もついています。

(太宰府天満宮宝物殿、菅公歴史館、親世宮寺宝蔵(収蔵庫)、ださいふ遊園地)



**太宰府へのアクセスも“より楽しく、より便利”になりました。**

**太宰府観光列車「旅人」**

列車に乗ったら、そこが太宰府。そんな列車を目指しました。

太宰府の観光スポットを日本画風に描いた外装と、開運を願う和文様でデザインされた内装が特徴の「乗って楽しい、見て楽しい」新たな太宰府名物です。

時刻表はこちら▶



**太宰府ライナーバス「旅人」**

JR博多駅や福岡空港から乗り換え不要で太宰府へお越しいただけます。

詳細はこちら▶



お問合せ / ☎0570-00-1010 ( 西鉄お客さまセンター )

# 歴史の散歩道

太宰府市は、古くから政治・文化の中心地として、歴史上で大きな役割を果たしてきました。現在でも市内各所でその名残を目にすることが出来ます。

そうした太宰府史跡の中心部を東西に貫き、特別史跡水城跡から太宰府天満宮までをつなぐ約7.2 kmの散策路「歴史の散歩道」。筑前国分寺跡や太宰府政庁跡、観世音寺、戒壇院などの主要な史跡をゆっくり巡りながら、歴史の息吹を感じることで出来る、絶好の散策コースです。

## 太宰府市文化ふれあい館

四王寺山の懐に抱かれ、高台に位置する太宰府市文化ふれあい館は「歴史の散歩道」の中核施設として誕生しました。

屋上からは水城の雄大な姿が望め、屋外では奈良時代に建てられた筑前国分寺の七重塔を10分の1スケールで復元した模型をいつでも見学できるなど、当時の壮大な風景を思い浮かべることができる場所です。筑前国分寺跡や国分瓦窯跡などの史跡地にも近く、史跡散歩を楽しむ方々などにとって、利用しやすい施設です。

このガイドブックは、ふれあい館を起点に、持ち歩きながら史跡を巡っていただけるよう、地図や解説を掲載しています。さあ、あなたも太宰府散策に出発してみましょう。思わぬ新発見が待っているかもしれません。

## 太宰府市文化ふれあい館

〒818-0132 福岡県太宰府市国分四丁目9番1号

電話：(092)928-0800 / FAX：(092)928-0802

開館時間：午前9時から午後5時

休館日：月曜日（祝日の場合同一週の最初の平日）

URL：<http://www.dazaifu-bunka.or.jp>





文化ふれあい館屋上からの展望



大宰府式鬼瓦（復原）



文化ふれあい館外観



筑前国分寺 七重塔復元模型



歴史の散歩道（観世音寺辺り）

# 文化ふれあい館 ～ 大宰府政庁跡 まで



## みかさだんいんしゅつどち 御笠団印出土地

ここから「御笠団印」と彫られた銅印が出土しました。御笠団ちくせんぐには平安時代、筑前国に置かれた4つの軍団（兵士の集団）のひとつです。



## さかもとはちまんじんじゃ 坂本八幡神社

祭神はおうしんでんのう応神天皇です。奈良時代には、この辺りに大宰府の長官であった大伴旅人の邸宅があったといわれており、おおどものたびと新元号ゆかりの地として注目を集めています。



### 徒歩での移動めやす

文化ふれあい館から

大宰府政庁跡まで約 0.9km

所要時間 約 15～20分



ちよっと  
よりみち

げんせいほういんのはか

### 玄清法印之墓



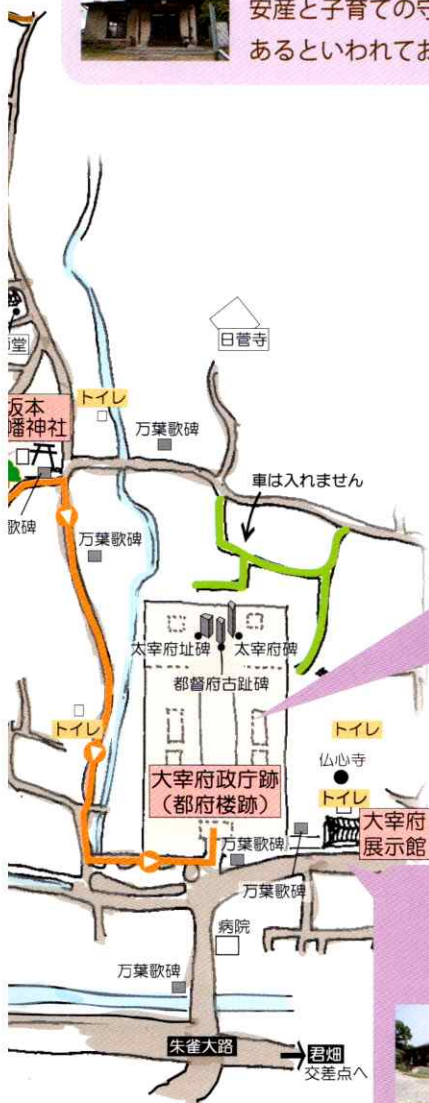
玄清法印は天台宗の高僧で、766年、太宰府に生まれたと伝えられています。17歳で失明、盲僧となった後は琵琶を弾いて数々の奇跡を行い、人びとを苦難から救ったということです。

きしもじん

### 鬼子母神(オカッテンサン)



安産と子育ての守り神である鬼子母神は、特にお産に関してご利益があるといわれており、現在でも地元の人たちに崇められています。



### だざいふせいちょうあと 大宰府政庁跡

地方最大の役所「大宰府」が置かれた場所です。その役割の重要性から、「遠とおの朝廷みかど」とも呼ばれていました。

### だざいふてんじかん 大宰府展示館

発掘された遺構をそのまま保存公開している施設です。また遺物や模型によって、古都大宰府を分かりやすく紹介しています。



(公益財団法人古都大宰府保存協会写真提供)

# 文化ふれあい館 ～ 水城跡まで

きぬかけてん まんぐう

## 衣掛天満宮

すがわらのみちざね



左遷された菅原道真が大宰府に入る前、旅衣を脱いで掛けたと伝える松と石を祀ったのが始まりとされています。



コンクリートで木樋（取水口）が再現されています



## みずきあと 水城跡

はくそんこうとう  
白村江敗戦後の664年に、唐・新羅の侵攻に備えて造られた土塁です。濠に水を貯えたことから「水城」と呼ばれました。



## 徒歩での移動めやす

文化ふれあい館から  
水城跡まで約1.5km  
所要時間 約15～20分





ちょっと  
よりみち

こくぶかわらがまあと

### 国分瓦窯跡

大宰府政庁や筑前国分寺の瓦を焼いたと考えられる窯の跡です。

現在は、ため池に水没してその遺跡を見ることはできません。



すがたみのい かがみいけ

### 姿見井 (鏡池)

道真が身支度を整えるため、自らの姿を映したと伝える井戸 (池) です。

現在は「姿見井」として景観復元されています。



## ちくぜんこくぶん に じ 筑前国分尼寺

しょうむてんのう

聖武天皇の命令により、国分寺  
とともに尼寺も建立されました。  
近くにある国分共同利用施設に  
礎石が残されています。



## ちくぜんこくぶん じ あと 筑前国分寺跡

奈良時代、聖武天皇の命令に  
よって国ごとに建てられたお  
寺の跡です。塔・回廊・講堂  
などが平面復元されています。

# 文化ふれあい館 ～ 西鉄都府楼前駅 まで



こくぶてんまぐう

## 国分天満宮

すがわらのみちさね

祭神は菅原道真です。創建年代は不明ですが、本殿はその銘文から、弘化元年（1844）に再建されたことが分かります。

えびすどう

## 恵比寿堂

ぶんせい

文政9年（1826）に造立された恵比寿像が祀られています。地元の人々に古くから信仰されています。



### 徒歩での移動めやす

文化ふれあい館から

西鉄都府楼前駅まで約 1.3km

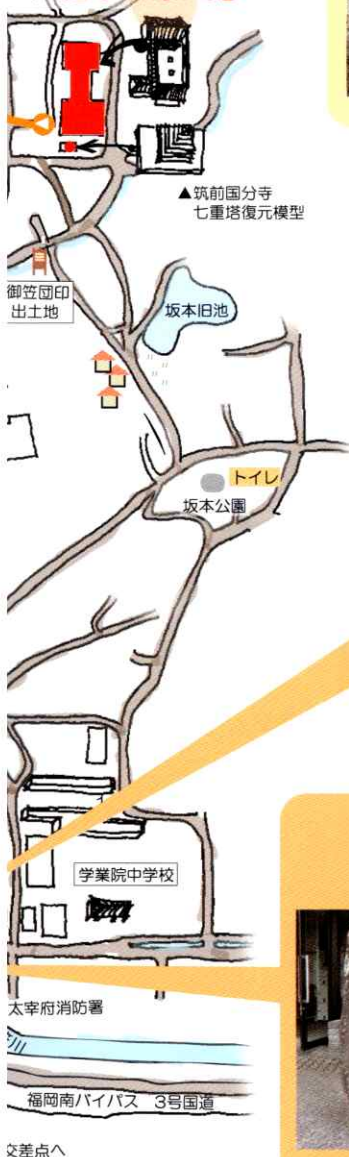
所要時間 約 15～20分





ちょっと  
よりみち

## 太宰府市 文化ふれあい館



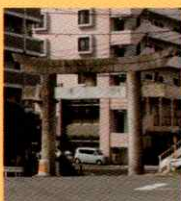
かるかやのせきあと

## 苺葺関跡



中世の関所の跡といわれますが、実態は  
かるかやどうしん いしどうまる  
よく分かりません。「苺葺道心と石童丸」  
伝説ゆかりの地としても、全国的に知ら  
れています。

## とり い 鳥居



まい いち  
さいふ詣り一の鳥居ともいわれ、  
ひ た  
日田街道から太宰府天満宮への  
参詣道が分かれる場所です。  
ぶんきゆう  
文久2年（1862）、福岡藩主黒田  
なりひろ ながひろ  
斉博（長博）より寄進されました。

みち しるべ

## 道標



2基のうち、1基には「是ヨリ  
ひかさいふ参詣道」と彫られ  
ています。げんろく  
元禄4年（1691）に  
寄進された、太宰府市内で最も  
古い道標です。

# こまの ちよ古旅 だざいふ

- 歴史の散歩道ガイドブック -

制作：太宰府市文化ふれあい館

発行：公益財団法人 太宰府市  
文化スポーツ振興財団  
太宰府市五条3丁目1-1

発行日：令和2年3月24日

※掲載情報は発行日時点のものです。

